

授業科目名	観光社会学	担当教員	寺田 憲弘
必修の区分	選択		
単位数	2 単位		
授業の方法	講義		
開講年次	2 年 第 1 クォーター		
講義内容	<p>現代において、ごく当たり前のこととして行われている観光、すなわち、個人が楽しみのために旅行をするということは、近代社会の成立の中で生まれ、近代社会の変質の中で変化していきました。</p> <p>本講義は、近代社会を研究対象とする学問としての社会学の視点から観光という現象を考えます。そして、社会学の理論や概念を理解し、それを応用して観光現象を分析できるようになることを目標とします。</p> <p>そのために、授業は講義形式で、社会学、観光研究の理論や概念の紹介し、それを使い、実際の観光現象を分析するという形で進めます。</p>		
到達目標	<p>本講義の到達目標は以下の 3 点である。</p> <p>(1)観光社会学の理論や考え方、分析手法などの知識を習得すること</p> <p>(2)それを応用して実際の社会における観光事例を分析、考察すること</p> <p>(3)その結果を文章で表現できるようになること</p>		
授業計画	<p>1. イントロダクション：観光の構造と近代化</p> <p>2. 近代化と社会システム</p> <p>3. 観光の社会史(1)人生儀礼と巡礼</p> <p>4. 観光の社会史(2)産業革命と近代観光の誕生</p> <p>5. 観光の社会史(3)福祉国家とソーシャルツーリズム</p> <p>6. 観光の社会史(4)マスツーリズムとフォーディズム</p> <p>7. 観光と文化(1)創られた伝統</p> <p>8. 観光と文化(2)オリエンタリズム</p> <p>9. 地域おこしと観光(1)町並み保存運動</p> <p>10. 地域おこしと観光(2)町並み保存と観光</p> <p>11. 地域おこしと観光(3)エコツーリズムの実践</p> <p>12. まとめ：近代の変容と観光の変化</p>		
事前・事後 学習	<p>・講義毎に講義内容に沿った課題を出します。</p> <p>・最終レポートでは、講義内容を踏まえた上で、自分の関心領域についてのレポートを書いてもらいます。それにつながる復習をして下さい。</p>		
テキスト	各回に授業資料を配付します。		
参考文献	<p>『都市の憧れ、山村の戸惑い 京都府美山町の夢』晃陽書房</p> <p>『聖地・熊野と世界遺産-宗教・観光・国土開発の社会学-』晃陽書房</p>		
成績評価 の 基 準	<p>・各回の授業内で出題する課題 (50%)</p> <p>・最終レポート課題 (50%)</p>		

履修上の注意 履修要件	・「観光メディア論」と合わせて履修すると、より理解が深まる
実践的教育	該当しない。
備考欄	履修者が定員を超過した場合、抽選を行う。